中学歴史プリント（書き取り）
奈良時代 No.9

名前

得点 ／21

1. 律令制度のもと、中央政府から地方に派遣されて郡司を指揮し、各地の統治を担当した役人を何という？
2. 度重なる渡航の失敗や失明という困難を乗り越え、日本に正式な仏教の戒律を伝えた唐の僧は誰？
3. 奈良時代、人口増加に伴う口分田の不足を解消するために、開墾した土地の永代私有を認めた法律を何という？
4. 律令制下で、九州北部の守備を担当した兵士の任務を何という？
5. 奈良時代の班田収授法において、政府が戸籍に基づき土地（口分田）を分け与える対象となったのは何歳以上の男女？
6. 郡司が行政に携わった、大宝律令などに基づく国家体制を何という？
7. 大化の改新以降、土地や人々はすべて天皇（国家）のものであるとする原則を何という？
8. 743年に出され、開墾した土地を永久に私有することを認めることで、土地の私有化を広めた法律を何という？
9. 710年に唐の都である長安をモデルにして建設された、奈良の都を何という？
10. 唐の長安を模して造られ、奈良時代に都が置かれた場所を何という？
11. 正倉院で見られる、三角材を組み上げて湿気を防ぐ建築様式を何という？
12. 防人として徴兵された農民たちは、主に日本のどの地方から選ばれていましたか？
13. 聖武天皇の時代に奈良を中心に栄えた、唐や西アジアの文化の影響を受けた国際色豊かな文化を何という？
14. 律令制において郡司に任命された、その土地に古くから勢力を持つ有力者を何という？
15. 奈良時代、政府の統制が強まるなかで、僧が民衆の間を巡り歩いて広め、深い信仰を集めた宗教を何という？
16. 奈良時代、租庸調の税を納める際に、荷物の内容や送り主などを記すために使われた木製の札は何という？
17. 防人たちが詠んだ歌などが収められている、日本最古の歌集を何という？
18. 大伴家持らが編纂に関わったとされる、現存する日本最古の和歌集を何という？
19. 奈良時代の班田収授法において、政府から農民一人ひとりに分け与えられた田を何という？
20. 『日本書紀』で、神代から歴史が記録されている最後の天皇は誰？
21. 遣唐使の船が日本から中国へ向かう際、多くの遭難者を出した荒れる海域を何という？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「奈良時代」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.9 奈良時代

言えた　／21

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	国司は都から派遣された貴族階級の官僚で、現地の有力者である郡司を指導し、税の徴収や戸籍の管理、治安維持を行いました。	国司	□
2	唐の僧である鑑真は、日本の僧からの熱心な招聘に応じ、5度もの遭難や失明という苦難を乗り越えて、6度目の来日を果たしました。	鑑真	□
3	743年に制定された墾田永年私財法は、新しく開墾した土地の永代私有を認めるものです。	墾田永年私財法	□
4	防人は、律令制における国防の要として、特に重要視された九州北部の防衛を任されました。	沿岸警備	□
5	戸籍を6年ごとに作り直し、6歳以上の男女に対して、身分や性別に応じた広さの口分田を貸し出しました。	6歳以上	□
6	律令国家では、公地公民の原則に基づき、戸籍を作成して人々に税を課しました。	律令国家	□
7	公地公民とは、すべての土地と人民を国家が直接管理し、公的なものとする原則です。	公地公民	□
8	政府は、743年に「墾田永年私財法」を制定しました。	墾田永年私財法	□
9	平城京は、710年に元明天皇によって奈良の地に建設された都です。	平城京	□
10	710年に飛鳥から遷都された平城京は、当時の中国である唐の都・長安を模して作られました。	平城京	□
11	校倉造は、断面が三角形の木材を井桁（いげた）に組んで壁を作る工法です。	校倉造	□
12	当時の東国は馬の飼育や弓の技術に長けた者が多く、軍事的な実力が高く評価されていました。	東国	□
13	天平文化は、聖武天皇を中心とする貴族や仏教が主導した文化です。	天平文化	□
14	終身制であったため、現地の地盤を持つ豪族たちがその地位を世襲的に継承することが一般的でした。	豪族	□
15	当時の仏教は、国家の公的な儀式のみならず、次第に一般民衆の生活や心にも浸透していきました。	仏教	□
16	木簡は主に松や杉などの板を薄く削って作られ、墨で文字が書かれました。	木簡	□
17	万葉集は、約4500首の歌を収めた日本最古の歌集です。	万葉集	□
18	万葉集は、現存する日本最古の和歌集です。	万葉集	□
19	6歳以上の男女に与えられ、その代償として農民は租・庸・調などの税を納める義務を負いました。	口分田	□
20	神話の時代から始まり、持統天皇の時代までの歴史を詳細に記しています。	持統天皇	□
21	東シナ海は波が荒く、また気象観測技術も未熟だったため、渡航は命がけの作業でした。	東シナ海	□

言えなかった用語ノート